

第5回 独身者（40代～60代前半）の老後生活設計ニーズに関する調査：調査の目的と方法

平河 茉璃絵

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構 研究員

【 記 事 情 報 】

掲載誌：年金研究 No.15 pp. 96-118 ISSN 2189-969X

オンライン掲載日：2021年3月19日

掲載ホームページ：<https://www.nensoken.or.jp/publication/nenkinkenkyu/>

DOI：http://doi.org/10.20739/nenkinkenkyu.15.0_96

要旨

近年、少子高齢化社会の進展とともに、人々の生き方や家族・世帯形態の多様化が進行している。その中で、単身世帯の増加が進行し、その傾向は今後さらに進むものとみられている。今回で5回目となる当調査では、前回に引き続き男性も含めた未婚者を対象とする一方、調査対象者の年齢上限は今回、59歳から64歳に引き上げた。

調査方法はインターネット調査である。調査は2020年6月22日～6月23日に実施した。調査対象は全国の40～64歳の未婚男女であり、回答者数は2500人。主な調査項目は仕事、家族・家計、住まい、今の生活、老後の生活、の5項目である。今回調査では、この5項目に加え、独身生活について感じる事、新型コロナウイルスの流行によって受けた影響についても調査した。調査票は本論文の末尾に示したとおりである。

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

近年、少子高齢化社会の進展とともに、人々の生き方や家族・世帯形態の多様化が進行している。その中で、単身世帯の増加が進行し、その傾向は今後さらに進むものとみられている。特に女性については平均寿命が長い一方、所得水準は概して低い。とりわけ単身女性世帯の場合、これからの超高齢社会の中で生活上の問題に直面する人が増えることも考えられる。

当機構では、このような社会構造の変化が与える影響を調べるために、従来、取り上げられることが少なかった独身女性を主たる対象とする「独身女性（40～50代）を中心とした女性の老後生活設計ニーズに関する調査」を、平成12年度から5年ごとに実施してきた。今回調査は、その5回目にあたる。第4回調査では近年の生涯未婚男性の増加やジェンダーの観点から、調査対象を男性にも拡大した。第5回調査においても、第4回調査と同様に、男性も含めた未婚者を対象とした。加えて、今回、調査対象者の年齢上限を59歳から64歳に引き上げた。

1.2 調査対象者

調査対象者は 1.1 で述べたとおりであり、その年齢幅を拡大し、40 歳～64 歳の未婚男女とした。

1.3 調査内容

今回調査の調査票は、大きく分けて以下のように構成されている。構成は前回調査とほぼ同じであるが、今回調査では「g.その他」の項目として、これまで独身生活を続けて感じていること、新型コロナウイルスの流行による生活への影響、を追加した。

- a. 仕事
- b. 家族・家計
- c. 住まい
- d. 今の生活
- e. 老後の生活
- f. ご自身の属性
- g. その他（独身生活を続けて感じる事、新型コロナウイルスの流行による生活への影響について）

2. 調査の方法

前回調査（第 4 回調査）と同様に、今回調査においても下記のとおり、インターネットによるアンケート調査を実施した。

- ・ 調査対象地域：全国
- ・ 調査形態：インターネット調査
- ・ 調査委託先：株式会社クロス・マーケティング
- ・ 調査実施時期：2020 年 6 月 22 日～6 月 23 日
- ・ 調査対象者（本調査）：
40～64 歳の未婚男女 2500 人（男性：1250 人、女性：1250 人）
- ・ SCR 調査：以下の①～③の全てに該当する回答者を本調査の対象者とした。

- ①「あなたの年齢を教えてください」という質問に「40～64 歳」と回答した者。
- ②「あなたは結婚していらっしゃいますか」という質問に「未婚」と回答した者。
- ③「未婚の方にお伺いいたします。現在、異性（パートナー）とご一緒にお住まいでしょうか」という質問に「いいえ」と回答した者。

- ・ 調査対象者の区分：年齢区分は 40～44 歳、45～49 歳、50～54 歳、55～59 歳、60～64 歳の 5 階層とした。居住地区分は東京圏、名古屋圏、大阪圏、その他（3 大都市圏を除く地域）の 4 地域とした。年齢階層の構成と居住地区分、性別の構成は、『平成 27 年国勢調査』と一致するように設定した。

3. 回答者の属性分布

回答者の属性分布は、以下の図表のとおりである。

3.1 年齢階層別分布

年齢階層別の分布状況は、図表1のとおりである。

図表1 年齢階層別の分布

	男性		女性	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
40-44歳	397	31.76	432	34.56
45-49歳	305	24.4	324	25.92
50-54歳	224	17.92	221	17.68
55-59歳	170	13.6	147	11.76
60-64歳	154	12.32	126	10.08
全体	1250	100	1250	100

3.2 居住地域別分布

居住地域別の分布状況は、図表2のとおりである。

図表2 居住地域別の分布

	男性		女性	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
東京圏	404	32.32	400	32
名古屋圏	105	8.4	86	6.88
大阪圏	161	12.88	199	15.92
その他	580	46.4	565	45.2
全体	1250	100	1250	100

3.3 最終学歴

最終学歴は全体サンプル及び男性サンプル、女性サンプルのいずれも一番多いのが大学・大学院で、次いで高等学校、短大・専修学校の順番である。

図表3 最終学歴の分布

	全体		男性		女性	
	人数	%	人数	%	人数	%
中学校	76	3	49	3.9	27	2.2
高等学校	759	30.4	367	29.4	392	31.4
短大・専修学校	585	23.4	176	14.1	409	32.7
大学・大学院	1062	42.5	651	52.1	411	32.9
その他	18	0.7	7	0.6	11	0.9
合計	2500	100	1250	100	1250	100

3.4 40歳～59歳の女性回答者の就業率と正社員率の推移

女性回答者の就業率と正社員率について、第2回から今回調査（第5回）までを比較した（図表4）。今回調査の就業率は、前回調査から約10%上昇した。その一方、正社員率は前回調査と比べ、ほぼ横ばいである。

図表4 女性回答者の就業率と正社員率の推移

	就業率	正社員率
第2回調査	86.5%	49.7%
第3回調査（未婚のみ）	78.6%	33.4%
第4回調査	81.8%	43.2%
第5回調査（今回調査）	91.5%	42.9%

注）就業率、正社員率は40～59歳の未婚女性の就業率、正社員率。就業率は40～59歳の女性回答者のうち就業している割合、正社員率は働いている40～59歳女性のうち、従業上の地位が正社員の女性の割合。

参考文献

- 財団法人シニアプラン開発機構（2001）『独身女性（40～50代）を中心とした中年女性の老後生活設計ニーズ及び社会的支援に関する調査』
- 財団法人シニアプラン開発機構（2001）『第2回 独身女性（40～50代）を中心とした女性の老後生活設計ニーズに関する調査』
- 財団法人年金シニアプラン総合研究機構（2011）『第3回 独身女性（40～50代）を中心とした女性の老後設計ニーズに関する調査』
- 長野誠治（2015）「第4回 独身者（40～50代）の老後生活設計ニーズに関する調査：調査の目的と方法」公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構、『Web Journal 年金研究』Vol.3, pp.112-129

独身者（４０～６０代前半）の老後生活設計ニーズに関する調査
（インターネット調査票一本調査）

<全員の方にうかがいます>

問 1 あなたの性別をお答えください。

1 男性

2 女性

<全員の方にうかがいます>

問 2 あなたの年齢をお答えください。

--	--

歳

<全員の方にうかがいます>

問 3 あなたが最後に卒業された学校は、次のどれに該当しますか。（○はひとつ）

1 中学校

2 高等学校

3 短大・専修学校

4 大学・大学院

5 その他

()

I お仕事について

<全員の方にうかがいます>

問 4 あなたの現在のお仕事（従業上の地位）は次のどれに該当しますか。

（二つ以上の仕事に就いている方は、主な仕事でお答えください。）（○はひとつ）

1 経営者・役員

2 正社員

3 パート

4 アルバイト

5 契約社員・嘱託

6 派遣社員

7 自営業

8 家族従業員

9 自由業（問 6 へお進みください）

10 内職（問 6 へお進みください）

11 その他（)

12 仕事に就いていない（家事専従者を含む）（問 9 へお進みください。）

<問4で1～8、11に○がついた方のみにうかがいます>

問5 従業員・雇い人は会社・団体全体で何人ぐらいですか。(○はひとつ、官公庁にお勤めの方は、そちらを選択下さい)

1 0人(*自分を含まず)	4 30人以上～100人未満	7 1,000人以上
2 1人以上～5人未満	5 100人以上～300人未満	8 官公庁
3 5人以上～30人未満	6 300人以上～1,000人未満	9 わからない

<問4で1～11に○がついた方のみにうかがいます>

問6 現在のお仕事の内容は次のどれに該当しますか。(○はひとつ)

1 専門知識・技術をいかした仕事 (研究者、教員、医師・看護師、システムエンジニア、デザイナーなど)
2 管理的な仕事 (課長以上の管理職。部長、課長など)
3 事務的な仕事 (管理・企画・販売・経理にかかわる事務、コールセンター職員、秘書など)
4 営業・販売の仕事 (セールなど営業・販売担当者、生命保険外交員など)
5 サービスの仕事 (理・美容師、調理師、店員、ウェイトレス、家政婦、ホームヘルパーなど)
6 農林漁業の仕事 (農家など)
7 保安の仕事 (警察官、消防署員、自衛官、警備員、監視員など)
8 運輸・建設の仕事 (バス・タクシー運転者、車掌、建設土木作業員、大工・左官など)
9 製造の仕事 (工員、製造工など)
10 その他 ()
11 わからない

<問4で1～11に○がついた方のみにうかがいます>

問7 現在のお仕事の継続期間と就労状況はどのようになっていますか。

(1) 現在のお仕事はどのくらい続けていますか(お勤めの場合は、現在のおつとめ先の勤続年数)。 □ □ 年 □ □ ヶ月
(2) 1週間の労働日数 (週によって異なる場合は平均的な日数)はどのくらいですか。 □ □ 日
(3) 1日の実労働時間 (日によって異なる場合は平均的な時間数)はどのくらいですか。 □ □ 時間

問 4 で 1 ～ 6 に○がついた方のみにかがいます>

問 8 現在のお勤め先に定年がありますか、定年がある場合、それは何歳ですか。

1 定年がある	<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳
2 定年はない			

<全員の方にかがいます>

問 9 今後、お仕事についてどのようにしたいと考えていますか。(○はひとつ)

1 現在の仕事を続けていきたい
2 現在の仕事を続けるが、将来、定年や事業を子ども等に譲った後は別の仕事をしてみたい
3 現在の仕事をやめて、転職を考えている
4 現在の仕事をやめて、引退したい(その後は仕事につかない)
5 現在は仕事をしていないが、適当な仕事をさがしている
6 現在は働けないが、いつか仕事につきたい
7 現在無職で、将来も仕事に就くつもりはない (問 12 へお進みください)
8 その他()

<問 9 で 7 以外に○がついた方にかがいます>

問 10 izzごろまで働きたいと考えていますか。(○はひとつ)

1 可能な限り働き続けたい。
2 年金受給年齢を迎えるまで働き、その後は引退したい(その後は仕事につかない)。
3 年金受給年齢を迎える前に仕事をやめ、そのまま引退したい(その後は仕事につかない)。
4 定年を迎えるまで働き、その後は引退したい(その後は仕事につかない)。
5 定年を迎える前に仕事をやめ、そのまま引退したい(その後は仕事につかない)。
6 その他()

<問 9 で 7 以外に○がついた方にかがいます>

問 11 出来ることなら何歳まで働きたいとお考えですか。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

II ご家族・家計について

<全員の方にうかがいます>

問 18 あなたを除いて同居されている方は全部で何人ですか。(○はひとつ)

1 0人 (問 22 へお進みください。)	4 3人	7 6人
2 1人	5 4人	8 7人
3 2人	6 5人	9 8人以上

<問 18 で 2～9 に○がついた方のみにかがいます>

問 19 現在、あなたはどなたと一緒に住まいますか。あなたとの続柄でお答えください。(○はいくつでも)

1 父親	7 祖父
2 母親	8 祖母
3 兄	9 その他親族
4 弟	10 友人
5 姉	11 その他 ()
6 妹	

<問 18 で 2～9 に○がついた方のみにかがいます>

問 20 現在、世帯の中で生計維持の中心となっておられる方はどなたですか。あなたとの続柄でお答えください。
(○はひとつ)

1 あなた自身	7 妹
2 父親	8 祖父
3 母親	9 祖母
4 兄	10 その他親族
5 弟	11 友人
6 姉	12 その他 ()

<問 18 で 2～9 に○がついた方のみにかがいます>

問 21 同居の理由はどれですか(○はいくつでも)。

1 介護のため	8 自分自身の健康上の問題
2 同居者の身の回りの世話をするため	9 自分の仕事の都合
3 金銭的に同居者の生活を支えるため	10 親族としての義務
4 自分の生活費を節約したいため	11 子供の頃から同居しているため
5 自分の所得だけでは生活が難しいため	12 その他 ()
6 親の健康保険の扶養となるため	
7 家事など自分の身の回りの世話をみてもら るため	

<全員の方にうかがいます>

問 22 あなたの世帯の、お仕事以外の収入も含めた世帯全体の過去 1 年間の収入（税込）は次のどれに該当しますか。

（○はひとつ）

1 なし	6 400 万円以上～500 万円未満	11 1,500 万円以上
2 100 万円未満	7 500 万円以上～600 万円未満	
3 100 万円以上～200 万円未満	8 600 万円以上～800 万円未満	
4 200 万円以上～300 万円未満	9 800 万円以上～1,000 万円未満	
5 300 万円以上～400 万円未満	10 1,000 万円以上～1,500 万円未満	

<全員の方にうかがいます>

問 23 あなたの世帯の収入源を全てお答えください。（○はいくつでも）

1 自分の仕事の収入	6 祖父母の年金収入
2 仕事以外の収入（アフィリエイト、ネットオークション等）	7 不動産収入
3 同居の方の仕事の収入	8 生活保護
4 自分の年金収入	9 その他（ ）
5 親の年金収入	10 特になし

* 世帯の収入源は、同一住居において、生計を同じくしている家族や同居人の収入（アルバイト、パート、非正規雇用収入、正社員給与など）全てを含む。

<全員の方にうかがいます>

問 24 あなたの過去 1 年間の収入はどのくらいですか。該当する収入が無い場合は 0（ゼロ）とご記入ください。

(1) あなたご自身のお仕事から得られる過去 1 年間の収入（税込）はおよそいくらでしたか。

□	億	□□□□	万円
---	---	------	----

(2) あなたご自身の仕事以外から得られる過去 1 年間の収入（税込）はおよそいくらでしたか。

□	億	□□□□	万円
---	---	------	----

<全員の方にうかがいます>

問 25 あなたが過去 1 年間で得た収入（小遣い・仕送り等も含む）のうち、衣食住に必要な生活費、交通費、冠婚葬祭などのやむを得ない交際費などを除いて、ご自身の判断で自由に使える収入はいくらでしたか。また、そのうちご自身の貯蓄・資産形成にまわした金額はおいくらですか。

(1) 過去 1 年間であなたご自身が自由に使えたのはおいくらですか（該当しない場合は 0（ゼロ）とご記入ください）。

□	億	□□□□	万円
---	---	------	----

(2) 過去 1 年間で新たに貯蓄・資産形成にまわした金額はおいくらですか（該当しない場合は 0（ゼロ）とご記入ください）

□	億	□□□□	万円
---	---	------	----

<全員の方にうかがいます>

問 26 あなたは、現在、次の年金や社会保険のうちどれに加入(受給)していますか。該当しているものに○を記入してください。

【年金】		加入者	受給者
1 国民年金 (自営業、学生、パート・アルバイト、無職など)	① 保険料を全額払っている		
	② 免除を受けている(一部免除を含む)		
	③ 保険料を払っていない		
2 厚生年金(会社員、公務員等の勤め人)			
3 企業年金(厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出年金企業型)			
4 国民年金基金			
5 確定拠出年金個人型(iDeCo)			
6 個人年金保険			

【保険】		
7 健康保険	① 国民健康保険	
	② 健康保険・共済組合(本人)	
	③ 健康保険・共済組合(被扶養者)	
	④ 国民健康保険料を滞納中	
8 雇用保険		

【その他の民間保険】	
9 生命保険・簡易保険	
10 火災保険	
11 地震保険	

【その他税制優遇措置】	
12 NISA・つみたてNISA	
13 財形貯蓄	
14 該当なし	

* 平成 27 年 10 月 1 日に共済年金は厚生年金に統合されたので、公務員や教職員も厚生年金の加入者になります。

* 60 歳以降在職(厚生年金保険に加入)しながら在職老齢年金を受け取っている場合は、加入者欄、受給者欄の両方に○を記入してください。既に退職等で年金に加入しておらず、年金も受け取っていない場合など、該当する欄がない場合は、○を記入する必要はありません。

<全員の方にうかがいます>

問 27 現在、あなたの世帯の1か月の生活費（扶養・住宅ローン支払・医療・教養・娯楽費などを含む）は平均して次のどれに該当しますか。（○はひとつ）

1	10万円未満	5	25万円以上～30万円未満	9	45万円以上～50万円未満
2	10万円以上～15万円未満	6	30万円以上～35万円未満	10	50万円以上
3	15万円以上～20万円未満	7	35万円以上～40万円未満	11	わからない
4	20万円以上～25万円未満	8	40万円以上～45万円未満		

<全員の方にうかがいます>

問 28 現在、住宅ローンのお借り入れはありますか。ある場合、現在のローン残高と返済額をご記入ください。

住宅ローンのお借り入れがない方は0（ゼロ）とご記入ください。

現在の住宅ローン残高
<input type="text"/> 億 <input type="text"/> 百万円
毎月の返済額
<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円

<全員の方にうかがいます>

問 29 現在、住宅ローン以外のローン（自動車ローン、消費者ローンなど）のお借り入れはありますか。ある場合、現在のローン残高と返済額をご記入ください。住宅ローン以外のお借り入れがない方は0（ゼロ）とご記入ください。

現在のローン残高
<input type="text"/> 万円
毎月の返済額
<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円

<全員の方にうかがいます>

問 30 現在、資産形成のためご利用されているものはどれですか。iDeCo、NISA、財形貯蓄などについても利用している商品の内容からお選びください。（○はいくつでも）

1 預貯金	5 外貨預金
2 株式・REIT	6 その他（不動産投資、仮想通貨、金、FX等）（ <input type="text"/> ）
3 国債・社債等	7 何もしていない（問 32 へお進みください）
4 投資信託・ETF	

<問 30 で 7 以外に○がついた方にうかがいます>

問 31 あなたが現在保有している預貯金や株などの金融資産額はおよそいくらですか。（わかる範囲で結構ですので時価でお答えください）

<input type="text"/>	億	<input type="text"/>	万円
----------------------	---	----------------------	----

Ⅲ お住まいについて

<全員の方にうかがいます>

問 32 あなたの現在のお住まいについては次のどれに該当しますか。(○はひとつ)

1 自分の持ち家	5 賃貸住宅 (民間・公団・公社)
2 親の持ち家	6 社宅
3 その他親族の持ち家	7 公営住宅・公的施設
4 親族以外(友人など)の持ち家	8 その他()

<問 32 で 5～7 (借家) にお住まいの方のみにうかがいます>

問 33 現在の家賃(月額)はいくらですか。

<input type="text"/>	万	<input type="text"/>	千円
----------------------	---	----------------------	----

<全員の方にうかがいます>

問 34 老後のお住まいについてはどのようにされますか。(○はひとつ)

1 現在の住まいにそのまま住み続ける
2 将来、持ち家を自分で購入するつもりである
3 親族から持ち家を相続する見込みである
4 親族の家に同居するつもりである
5 将来、恋人あるいは結婚して配偶者の家に同居するつもりである
6 周囲の人と助け合いながら暮らす、シェアハウスやコルティブハウスに移り住むつもりである
7 有料老人ホーム(自立型)やサービス付き高齢者向け住宅など支援の得られやすいところで暮らすつもりである
8 賃貸住宅(6、7を除く通常の物件)に移り住むつもりである
9 その他()
10 わからない

* コルティブハウスとは、仲間や親しい人々が生活を共同で行う居住形態で、共同の食堂や談話室を有する一方で、プライバシーを保つために個室にはそれぞれコンパキッチン、浴室、トイレなどが設けられている。

<全員の方にうかがいます>

問 35 老後のお住まいでは、どなたと暮らすことを考えていますか。(○はひとつ)

1 1人で暮らすつもりである(8を除く)
2 親と暮らすつもりである
3 兄弟姉妹と暮らすつもりである
4 将来、恋人あるいは結婚して配偶者と暮らすつもりである
5 将来、子ども(養子を含む)と暮らすつもりである
6 その他親族(甥や姪など)と暮らすつもりである
7 友人と暮らすつもりである
8 一緒に暮らす人がいないので、共有スペースのある施設や賃貸住宅で様々な人と生活の一部を共有しながら暮らすつもりである
9 その他()
10 わからない

IV 今の生活について

<全員の方にうかがいます>

問 36 現在のあなたの健康状態は次のどれに該当しますか。(○はひとつ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 非常に健康 | 4 注意する点があり、日常生活に支障がある |
| 2 まあ健康 | 5 病気がち、療養中 |
| 3 注意する点はあるが、日常生活に支障はない | |

<全員の方にうかがいます>

問 37 現在および老後において、自分自身のことについて頼りにできる人は誰ですか。

(○は最も当てはまる方を列ごとにそれぞれひとつずつ。その他の場合は、カッコ内に該当者を記入)

	いざというときに 経済援助を してくれる人		病気のために 看護や家事を してくれる人		悩みを聞いて くれる人	
	現在	老後	現在	老後	現在	老後
(1) 父親						
(2) 母親						
(3) 兄弟姉妹						
(4) 恋人(老後について は、配偶者も含む)						
(5) その他親族						
(6) 友人						
(7) 職場の同僚						
(8) 地域・近隣の人						
(9) その他 ()						
(10) 特にいない						

<全員の方にうかがいます>

問 38 あなたは、次の生活のそれぞれの面ではどの程度満足していますか。(○は行ごとにそれぞれひとつずつ)

	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満
(1) 今の生活全般					
(2) 仕事の内容					
(3) 職場の人間関係					
(4) 休暇・労働時間					
(5) 福利厚生・社会保険					
(6) 収入					
(7) 資産・貯蓄					
(8) 趣味やスポーツ活動					
(9) 家族					
(10) 恋人					
(11) 友人					
(12) 地域・近隣の人					

<全員の方にうかがいます>

問 39 あなたが「今」および「老後の」生活において不安に感じるのはどのようなことですか。

(○は行ごとにそれぞれひとつずつ)

今の生活における不安	大変不安に感じる	少し不安に感じる	あまり不安でない	まったく不安を感じない
(1) 今の生活全般				
(2) ご自身の健康のこと				
(3) 生活費のこと				
(4) 安心して住める住宅がないこと				
(5) 家族の健康のこと				
(6) 面倒をみってくれる人がいないこと				
(7) 適当な話し相手がないこと				
(8) 恋人がないこと				
(9) 適当な趣味がないこと				
(10) 雇用が不安定なこと				
(11) 先行きに対する漠然とした不安感				
老後の生活における不安	大変不安に感じる	少し不安に感じる	あまり不安でない	まったく不安を感じない
(12) 老後の生活全般				
(13)ご自身の健康のこと				
(14) 生活費のこと				
(15) 安心して住める住宅がないこと				
(16)家族に先立たれること				
(17) 面倒をみってくれる人がいないこと				
(18) 適当な話し相手がないこと				
(19) 恋人がないこと				
(20) 最期を看取ってくれる人がいないこと				
(21) ご自身の葬儀やお墓の世話のこと				
(22) 適当な趣味がないこと				
(23) 雇用が不安定なこと				

<全員の方にうかがいます>

問 40 現在、あなたは異性と交際していますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 結婚を前提に交際をしている | 3 交際相手はいないが異性の友人はいる |
| 2 結婚を前提とせず恋人として交際している | 4 交際相手も異性の友人もない |
| 5 答えたくない | |

<全員の方にうかがいます>

問 47 65歳以降、あなたはどのようにして生計を立てようとお考えですか。(優先順位の高いものから順に最大5つまで)

1	仕事による収入
2	公的年金 (国民年金、厚生年金)
3	企業年金 (厚生年金基金、確定給付企業年金など)
4	個人年金 (個人年金保険、簡易保険など)
5	不動産収入
6	利息・配当金収入
7	預貯金
8	親族からの支援
9	生活保護
10	その他 ()
11	わからない

<全員の方にうかがいます>

問 48 あなた自身が将来受け取る次の年金額は、月額でおよそどのくらいの見込みですか。既に年金を受給されている方はその額を記載してください。ただし、働きながら減額された年金を受け取っている方は、減額されない場合の満額の年金額を65歳以上に受け取る基礎年金の額も含めてお書きください。また、金額がわからない場合は、0(ゼロ)とお答えください。

① 公的年金	(
<input type="text"/>	万円
② 企業年金	
<input type="text"/>	万円
③ 個人年金保険	
<input type="text"/>	万円

* ③個人年金保険(国民年金基金、確定拠出年金個人型(iDeCo)の金額を合わせて記入)

<全員の方にうかがいます>

問 49 国の制度である老齢基礎年金、老齢厚生年金を受け取ることができるのは原則として 65 歳からです。もし、早く受け取ることを希望すれば、60 歳以降であれば、繰上げて受け取ることができますが、年金の額は 1 年あたり 6%（改正後 4.8%（参考参照））減ります。また、65 歳を過ぎても収入がある場合などは、最大で 75 歳（令和 4 年 4 月から適用）まで繰下げて受給することができます。受け取る年金額を 1 年あたり 8.4%増やすことができます。

あなたは何歳から公的年金を受け取りたいと思いますか（受け取っていますか）。

<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	歳
---	---

* 参考で示した表は、年金の請求時点の違いによる年金額の増減を示しています。

なお、現在男性 59 歳以上、女性 54 歳以上で 65 歳より早く厚生年金を受け取ることができる場合や 60 歳以上でも厚生年金の保険料を支払いながら働く場合など、この表の減額率・増額率とは異なる場合があること、税・社会保険料を控除する前の率であることに注意してください。

（参考）

<繰上げ請求と減額率>

	60 歳 0 か月	61 歳 0 か月	62 歳 0 か月	63 歳 0 か月	64 歳 0 か月
減額率 (改正後)	▲30% (▲24%)	▲24% (▲19.2%)	▲18% (▲14.4%)	▲12% (▲9.6%)	▲6% (▲4.8%)

* 繰上げ支給の請求をした時点に応じて年金額が減額され、その減額率は一生変わりません。1 か月早く受け取るとに 0.5%減額になります。（令和 4 年 4 月 1 日以降、60 歳に到達する方を対象として、1 月当たり 0.4%に改正予定）

<繰下げ請求と増額率>

	66 歳	67 歳	68 歳	69 歳	70 歳	71 歳	72 歳	73 歳	74 歳	75 歳
増額率	+8.4%	+16.8%	+25.2%	+33.6%	+42.0%	+50.4%	+58.8%	+67.2%	+75.6%	+84%

* 繰下げ支給の請求をした時点に応じて年金額が増額され、その増額率は一生変わりません。1 か月遅く受け取るとに 0.7%増額になります。

<問 49 で 64 歳以下と回答された方にうかがいます>

問 50 64 歳以下で受け取る（すでに受け取っている）理由についてお答えください。

1 年金を繰上げないと生活できないため 2 生活の足しにしたいため 3 減額されても、早く受給する方が得だと思ったから 4 仕事をやめる(やめた)から	5 健康に不安があるので、早めに受け取りたいから 6 繰り上げしなくても 64 歳以下で受け取ることができるから 7 その他() 8 特に理由はない
--	--

<問 49 で 66 歳以上と回答された方にうかがいます>

問 51 66 歳以上で受け取る理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 65 歳以降も働くから | 5 所得が多くてしばらく年金が受け取れないから |
| 2 所得・資産が十分あるから | 6 その他() |
| 3 増額した方が得だと思ったから | 7 特に理由はない |
| 4 健康に自信があり長生きしそうだから | |

<全員の方にうかがいます>

問 52 65 歳以降、あなたご自身が万一介護が必要になった場合、どのような対処をされますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 自宅でホームヘルプサービス、訪問看護などの在宅介護・デイサービスを利用する |
| 2 将来、恋人あるいは結婚して配偶者に介護してもらう |
| 3 将来、子ども(養子を含む)に介護してもらう |
| 4 親族にお願いする |
| 5 友人にお願いする |
| 6 地域・近隣の人にお願いする |
| 7 公的介護施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設など)に入所する |
| 8 介護付き有料老人ホームに入所する |
| 9 病院に入院する |
| 10 その他() |

VI 独身生活を続けて感じること

<全員の方にうかがいます>

問 53 これまで独身生活を続けられて、現在どのように感じておられますか(〇はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1 結婚しなくてよかった | 11 性格や人格に対する偏見を感じる |
| 2 早い時期に結婚しておけばよかった | 12 社会的信用を得にくい(賃貸物件の利用、住宅ローンの審査、その他) |
| 3 自分のライフスタイルを維持できてよかった | 13 周囲に結婚のことを聞かれるのがわずらわしい |
| 4 働き続けることで、一定のキャリアを築いてこられた | 14 子供がほしい(ほしかった) |
| 5 既婚者のような、家計のやりくり・家族関係等の煩わしさがない | 15 現在付き合いのある友人の多くが独身者である |
| 6 親と同居できてよかった | 16 いつも残業させられるなど、仕事上で不利益がある |
| 7 独身のため親と同居することになり不満を感じる | 17 同居人の世話と仕事の両立が難しい |
| 8 お金を自由に使える | 18 自分の死後の資産の相続が心配 |
| 9 自由に使える時間が多い | 19 老後のことを考えると不安 |
| 10 1 人では食事や健康の管理が難しい | 20 その他() |

Ⅶ 新型コロナウイルスの流行の影響について

<全員の方にうかがいます>

問 54 新型コロナウイルスの流行によって、あなた自身どのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)

1 勤務先の倒産・廃業、整理解雇	7 収入減により家計が困窮している
2 自身の仕事や収入が減少した	8 マスク、トイレットペーパー等必要なものが買えず困った
3 家族の仕事や収入が減少した	9 マスク、トイレットペーパー等が買えなくなると困るので、必要だと思うものは普段よりも多く購入した
4 働き方に変化があった(自宅勤務、時差出勤など)	10 連日の報道や外出制限でストレスがたまったり、気鬱になったりした
5 社内のウイルス対策で仕事が増えた	11 その他
6 流行により、製品需要が増え、仕事も増えた	()